

令和5年度10月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和5年度10月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和5年10月24日（火） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーバспラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 第3次古賀市生涯学習基本計画策定
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森副議長、村山委員、橋爪委員、
倉掛委員、石川委員、丸井委員、山本委員（以上委員8名）
- 【 欠席委員 】 砥上委員
- 【 事務局 】 教育部長、生涯学習推進課長、村上参事補佐、平川、田原
- 【 傍聴者数 】 0名

【 配布資料 】

- ・ レジユメ
- ・ 第3次古賀市生涯学習基本計画（第2章、第3章）
- ・ 笑顔のつどいアンケート結果

【次第】

1. 開会あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 生涯学習基本計画策定
 - ・第2章2. 古賀市がめざす生涯学習
 - ・第2章3. 生涯学習に必要な視点
 - ・第3章 生涯学習を実現するための目標と方策
 - (2) 笑顔のつどいの課題と反省
3. その他
 - (1) 各委員から
 - (2) 事務局から
 - ・九州ブロック社会教育委員研修会 令和5年11月9～10日
 - ・市長・教育委員会との意見交換会について
日 時：令和5年12月19日（火）15時～
場 所：市役所
テーマ：「放課後の子どもの過ごし方について」（案）
（前回テーマ：コロナ後の地域活動の進め方について
PTCA活動、部活動、通学合宿など）
 - (3) 次回開催日程決め
4. おわりの言葉

【 会議内容 】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 生涯学習基本計画策定

(事務局)

古賀市生涯学習基本計画、変更点について説明。

◇「自分を高める生涯学習・社会教育」

(角森委員)

②の全体の計画の話をして、個別の話に入るような形で順番を変えたほうがいいのではないか。

(事務局)

そちらのほうが分かりやすいのでそのように変えさせていただく。

(井浦議長)

今回は各項の下に矢印（具体例）があったが、本文には入らないのか。

(事務局)

本来は入れないが、皆さんにどんな事業があるかイメージしやすいように入れていた。今回は本番に近い形にするために外した。事業名等が入るとその事業に凝り固まった10年間になるので、事業名を外して今後10年間の中で柔軟性をもって変化していけるようにしている。

(井浦議長)

この計画を推進する中で新しいものが生まれてくるとイメージしていけば、やはり特定の事業名を挙げると固執されがちのところもある。

(倉掛委員)

将来の生涯学習の担い手は子どもだが、この計画は大人を対象にしたような文章になって

いる。大人の学びが中心となっているので、どこかに子どもも入れるべきではないか。生涯学習笑顔のつどいの記載があるが、今後10年の計画と考えると入れないほうがいいのかではないか。

(事務局)

生涯学習笑顔のつどいについては、事務局のほうでも迷っていた。例えば、社会情勢や、今後の古賀市の生涯学習の普及度合いを考えると変質していく可能性は十分考えられる。

(井浦議長)

2つの視点でお話が出ている。1つは子ども目線。1つは事業名。

例えば、笑顔のつどいは継続についても考える必要があるので、「現在行われている」という表現を入れて、形が変わっても自主事業としてできればいいのではないか。

(倉掛委員)

子どもについては、地域公民館の項目に入れてもいいと思った。子どもが利用しやすくするために、今地域公民館には課題がたくさんある。

(村山委員)

倉掛委員の話聞いて、「自分を高める生涯学習・社会教育」のところでは、新しいスキルの獲得については、子どもにも言えると思う。自分が進んで地域公民館に行って活動するという体験が将来社会を支える大人になったときにたいせつだと思う。

(倉掛委員)

「人は、地域や社会と交流することによって、新たな学びが生まれ、充足感を得ます。」という文章があるがまさに子どもがそうだと思う。学校、家庭ではなく、地域という第3の場所が昔に比べて狭くなっていると感じる。今は、放課後も塾や習い事など個別の学びになっていて、共の学びが少なくなっている。今後どのようにして、子どもに社会性を身に付けていくか難しい。

(事務局)

例えば、「②地域公民館との連携」という言葉を「②地域と公民館との連携」という文言にして、学校、学童など子どもを含ませて、すべての年齢とするのはどうだろうか。

(井浦議長)

「いつでも始められる生涯学習」の③誰もが学べる環境づくりの項で学童期の子どもも含めた言葉を入れると全体につながっていくといえるのではないか。

(丸井委員)

第2章1. 2の中で「子どもから大人まで」という文言を入れたらいいのではないか。

「自分を高める」の項で社会人という大人に限定した表現があるので、学びたい人に変えたらどうか。

(村山委員)

子どもが自分で公民館や図書館に行くという行動が将来自分で調べる活動に結びついてくるのでたいせつだと思う。

(井浦議長)

子どもについていろいろな意見が出ましたので、子どもたちの活動も見えてくるような計画になるよう事務局で検討いただければと思う。

(角森委員)

学校教育と社会教育で担当は分かれているが、古賀市生涯学習基本計画には、一緒にしなくてはいけないのか。

(井浦議長)

生涯学習は全体を含んでいる。計画の第2章2の中で「子どもから高齢者まであらゆる世代の市民」と表現しており、子どもについても充分カバーできている。

◇「みんなで支える生涯学習・社会教育」

(倉掛委員)

②地域公民館との連携のところで、地域公民館は子どもだけでは鍵が借りられないなど課題がたくさんある。

(石川委員)

放課後に子どもたちが地域公民館にたくさん来て、部屋が足りなくなっている。もっと開放できればいいと思う。大人だけでなく、子どもたちの居場所になってほしい。

(橋爪委員)

今少年野球の指導者をしているので、少年野球が子どもたちの居場所になっている。

最近の子どもたちは遊び方をよく知らないなのでそこに大人が関わっていくのは非常に重要なこと。ただ子どもは魅力的な場があれば集まってくるのでそういう場所を作ってあげることが重要。大人が知恵を絞るべきところだと思う。10年を見越しての計画なので、おそらく大きく変わるかもしれないし、変わらないかもしれない。

(井浦議長)

①②③の中で子どもが日頃集まれる場所、立ち寄れる場所という表現を入れればと思う。そのために人材育成していきましょうという文章にできればいい。

(倉掛委員)

項目の最初の説明に子どもの現状や居場所の少なさを課題として入れていただければと思う。

笑顔のつどいの課題と反省

(橋爪委員)

内容はすごくよかったと思う。テーマ「リスタート」に沿って、参加者の活動に活かせるような話で非常に興味深い内容だった。しかし、参加者が少なかった。おそらくコロナ禍が終わって皆さん休日はどんどん外に出ていかれているのでなかなか集まらない。とにかく内容が良くても聞く人が少なかったら意味がないのでそこをどうするのが1番の課題になると思う。

(丸井委員)

登壇者の方もいい話だった、勉強になったと言われていたが、人が少ないのがもったいなかった。もっと発信の仕方を工夫し、チラシもお洒落で手に取ってみたいくなるようにするのも手ではないか。

(村山委員)

参加者からよかったと話しかけられて、今まで笑顔のつどいがあることを知らなかったと言っていた。広報にも書いてあるのに関心がない方もいらっしゃる。例えば、個々のグループの皆さんに是非来てくださいと案内するときにチラシがあると詳しく案内できていいと思った。

(橋爪委員)

課題は、年齢層を見たら40代から下の参加者がゼロ。40代以下の世代を巻き込んでいけないといけないと思う。難しいが、SNSやホームページを見る世代なので周知のやり方を工夫する。

(石川委員)

どこも参加者の動員は難しい。関係者の方にお声がけすることが大事だと思う。登壇者の方にも周りにお声掛けをお願いすることも大事。

(井浦議長)

例えば、今回であれば発表される3団体の関係者や、そのテーマに関係する人達にチラシの配布やホームページなどでPRする。なかなか30代、40代の参加者は難しい状況である。

(倉掛委員)

登壇者の関係者ばかりではなく、知りたいと思う人に向けて、もっと話ができたらいいと思う。

3. その他

(1) 各委員から

(石川委員)

文化協会からです。11月3日、4日、5日で文化祭が開催される。子どもたちの作品の展示や、舞台発表がある。1月は子どもたちのピアノコンサートを企画している。興味がある方はぜひお越しいただきたい。

(井浦議長)

10月13日に福岡ブロックの社会教育委員の研修会に行った。来年の会場は古賀市になっている。参加者が100名弱で内容は、教育大学の先生から「持続可能な社会教育活動のための組織づくりと人づくり」というテーマで話があり、パネルディスカッションでは、「コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進」という内容で、社会教育に携わる人たちの組織的な繋がりについて意見交換をした。福津市のトークフォークダンスという子どもたちと保護者、地域の人が輪になって話をする活動についての話があり、質問等も出ていた。来年度は、古賀市で開催されるので、運営の協力をよろしくお願いします。

(2) 事務局から

- ・九州ブロック社会教育委員研修会 令和5年11月9～10日
- ・市長・教育委員会との意見交換会について
日 時：令和5年12月19日（火）15時～
場 所：市役所
テーマ：「放課後の子どもの過ごし方について」（案）
（前回テーマ：コロナ後の地域活動の進め方について
PTCA活動、部活動、通学合宿など）

(3)次回開催日程

11月 21 日 (火) 18:30 ~ 会場: 103

4. おわりの言葉

学校でインフルエンザ、うちの大学ではコロナウイルスが流行っている。

教員がかかって学生に移るので、マスクをするよう指導している。マスクは自分を守るためでもあるが、相手に移さないようにもできるので、みなさん気を付けるように。古賀市はみかんがとれる。1日3個みかんを食べるように言われている。3個とわざとっているのは、糖分が多いので3個を勧めている。今日はお疲れ様でした。